

工業技術研究推進会議 生産技術部会議事録	平成 15年 11月 5日 (水)
-------------------------	-------------------

金型設計等におけるCADデータ転送時の互換性問題解決 (事後評価)
--------------------------------------

質問・意見	回答
-------	----

B委員	最終的に、今回の成果として送り手の対応ソフト数に対して受け手の対応ソフト数はどの程度実現できたのですか？	送り手が6～7、受け手が3～4程度です。
C委員	この研究は、CADメーカーで主に2つのフォーマットになってきており、その二つの互換性をもたせるということなのか、それともすでにCADデータをやりとりしている環境で発生する互換性問題、不具合修正を行う研究なのですか？	<p>今の話では後者が本研究テーマです。互換性がとれているといっても、問題が多々ありますので、その解決を行ったのが研究の目的です。</p> <p>(特産開発デザイン部長) 県内企業からCADデータを持ち込み、光造形の試作を短期間で依頼されることが多く、その際のデータ修正にかなりの時間を強いられるということが多々ありました。</p>
	CADからCAMへの変換の際に、機種の違いと言っているのが問題です。データがメールなどで送られてきたときにうまくデータを見られないときもあります。そういう問題への対応をしたほうがいいのではと思います。	<p>(特産開発デザイン部長) まず、皆様からいただいたデータから依頼されたものを作成できないというのは問題ですので、まずその問題解決に取り組みました。</p> <p>(補足) 基本的なデータ授受の問題については日常的に対応を行っていくつもりです。</p>